

## 第 2 1 回会津坂下町新庁舎建設検討委員会 次第

と き 令和 7 年 1 2 月 1 5 日 ( 月 ) 午後 3 : 0 0 ~  
ところ 会津坂下町役場 3 階 大会議室

### 1. 開 会

### 2. 町長あいさつ

### 3. 委員長あいさつ

### 4. 協議事項

( 1 ) 基本計画 ( 案 ) 前回委員会からの修正箇所 . . . . 資料 1

( 2 ) 前回委員会意見の検討 . . . . 資料 2

( 3 ) 基本計画 ( 案 ) について . . . . 資料 3

( 4 ) 団体からの要望について . . . . 資料 4 - 1  
資料 4 - 2  
資料 4 - 3

( 5 ) その他

### 5. その他

### 6. 閉 会

基本計画（案）11/13検討委員会からの修正箇所

資料1

ページ	項 目	修 正 内 容
p.1、p.2	目次	「6. 基本性能と導入機能」について、番号のみだった基本方針の記載を、内容まで全て記載
p.4	1. はじめに	②本計画の検討体制の図を変更
p.29～35	6. 基本性能と導入機能	写真の追加
p.31	6. 基本性能と導入機能	「基本方針②：来庁者に優しい便利でわかりやすい庁舎」の＜トイレ機能＞に、⑤男子トイレへのおむつ替え台、ベビーチェアの設置を追加
p.36	6. 基本性能と導入機能	「基本方針⑤：町民が集い賑わいが生まれる庁舎」に、（５）地域産材の活用を追加
p.37、38	7. 新庁舎の建築計画	（１）敷地条件について、所在地を合筆、分筆後の住所に変更 配置計画の比較を追加
p.39	7. 新庁舎の建築計画	（２）配置計画について、役場敷地面積を測量後の面積に変更

## 11/13検討委員会での意見の検討

	意 見 内 容	検 討
1	役場の前面は、職員の駐車スペースではなくして、庁舎の位置を変えるなどして少しでも有効に使うか、交流スペースとしての建物を建てた方がいい。	
2	屋上に、防災機能や町民の憩いの場所としての機能を備えることを考えてはどうか。	
3	駐車場の散水消雪など、具体的な話を当初から考えるべき。	
4	高齢化率を考えると、男子トイレにも紙おむつを交換するスペースが必要になってくると思う。	
5	複合施設化を希望する。350人程度入れる文化ホールがあればいいなと思う。	

会津坂下町新庁舎建設  
基本計画(案)  
修正・協議箇所抜粋版

会津坂下町





## <目 次>

<b>1. はじめに .....</b>	<b>※</b>
(1) 新庁舎建設の検討の背景 .....	※
(2) 基本計画の位置付けとこれまでの経過 .....	※
<b>2. 現状と課題の整理・新庁舎の必要性 .....</b>	<b>※</b>
(1) 現庁舎の現状と課題 .....	※
(2) 新庁舎整備の必要性 .....	※
(3) 各種計画との関連性 .....	※
<b>3. 基本理念と基本方針 .....</b>	<b>※</b>
(1) 基本理念 .....	※
(2) 基本方針 .....	※
<b>4. 新庁舎等の規模 .....</b>	<b>※</b>
(1) 基本的な考え方 .....	※
(2) 規模算定 .....	※
(3) 新庁舎に必要な規模 .....	※
(4) 駐車場・駐輪場の規模 .....	※
<b>5. 建設地の選定と今後の課題 .....</b>	<b>※</b>
(1) 建設候補地の比較 .....	※
(2) 建設地の選定 .....	※
(3) 建設地の今後の課題 .....	※
<b>6. 基本性能と導入機能 .....</b>	<b>※</b>
基本方針① 町民の安全を守る防災拠点としての庁舎	
(1) 防災等拠点機能（構造計画含む） .....	※
(2) 駐車場・駐輪場等 .....	※
基本方針② 来庁者に優しい便利でわかりやすい庁舎	
(1) 窓口、住民サービス機能 .....	※
(2) ユニバーサルデザインの採用 .....	※
基本方針③ 効率的で利用しやすい行政機能を備える庁舎	
(1) 防犯・セキュリティ機能 .....	※
(2) 執務機能および執務環境 .....	※
(3) 福利厚生 .....	※
基本方針④ 経済性に優れた庁舎	
(1) コストの低減（長寿命化） .....	※
(2) 負荷の軽減 .....	※

基本方針⑤ 町民が集い賑わいが生まれる庁舎

- (1) コミュニティ施設機能 ..... ※
- (2) 議会機能 ..... ※
- (3) 景観・周辺環境への調和 ..... ※
- (4) まちづくり・地域づくり ..... ※

**7. 新庁舎の建築計画 ..... ※**

- (1) 敷地条件 ..... ※
- (2) 配置計画 ..... ※
- (3) 構造計画 ..... ※
- (4) 平面計画 ..... ※
- (5) 階層計画 ..... ※
- (6) 設備計画 ..... ※
- (7) 外構及び景観等 ..... ※
- (8) 木質化、木造化の検討について ..... ※

**8. 現庁舎跡地の利活用 ..... ※**

- (1) 現庁舎跡地の利活用について

**9. 概算事業費の算出と財源計画 ..... ※**

- (1) 概算事業費 ..... ※
- (2) 財源等 ..... ※

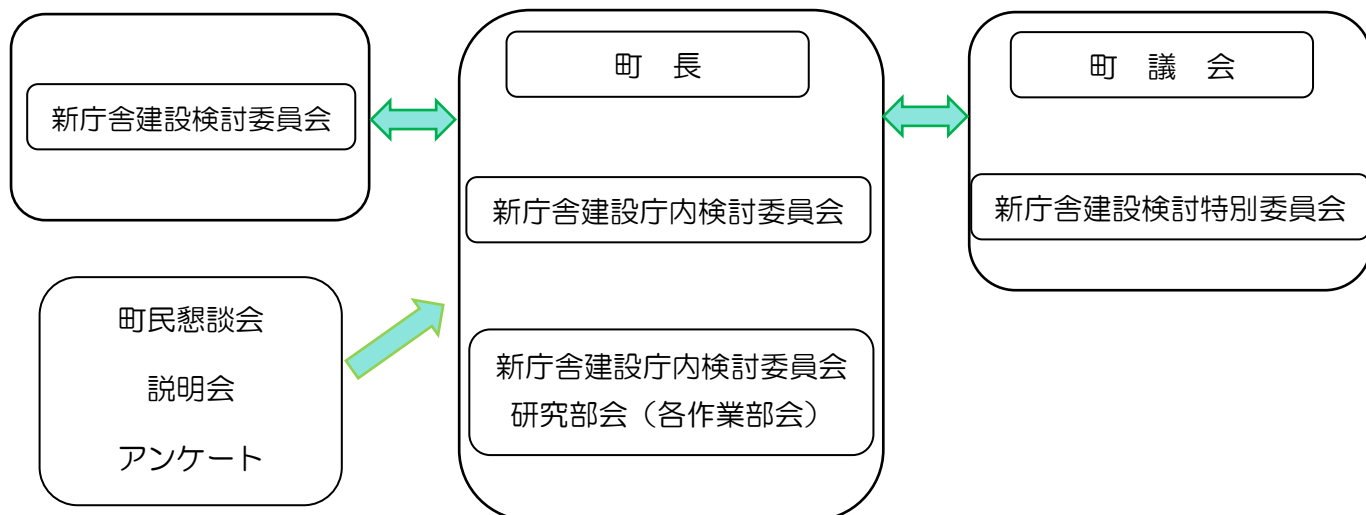
**10. 事業方式と事業スケジュール ..... ※**

- (1) 新庁舎建設の事業方式の例 ..... ※
- (2) 新庁舎建設の事業方式別事業の流れと役割分担 ..... ※
- (3) 新庁舎の事業方式別のメリット・デメリット ..... ※
- (4) 新庁舎の事業方式の選択 ..... ※
- (5) 新庁舎の事業スケジュール ..... ※

**巻末資料**

- ※※※※※※※※※※ ..... ※
- ※※※※※※※※※※ ..... ※
- ※※※※※※※※※※ ..... ※

## ②本計画の検討体制



## ③これまでの経過

平成29年3月23日に庁内の課長等による第1回新庁舎建設検討委員会を立上げ、平成30年4月に庁舎内組織機構の改編により政策財務課内に庁舎建設準備係を設置し、本格的に新庁舎建設へ向けた検討に入りました。また町民の声を建設計画へ反映させるため町民による各種団体の代表者20名による「会津坂下町新庁舎建設検討委員会」を平成29年7月に設置し、延べ8回にわたる検討委員会を開催し、新庁舎に必要な機能や複合施設の検討、特に建設候補地の選定においては、委員各位の白熱した議論の末、現庁舎付近に決定し町長に中間答申されました。

平成30年3月議会において中間答申を上程し議決を得ましたが、同年6月財政シミュレーションの再実施の結果、このままの財政状況で建設を進めると、住民サービスの低下が危ぶまれることから、同年9月議会において、新庁舎建設については休止としました。

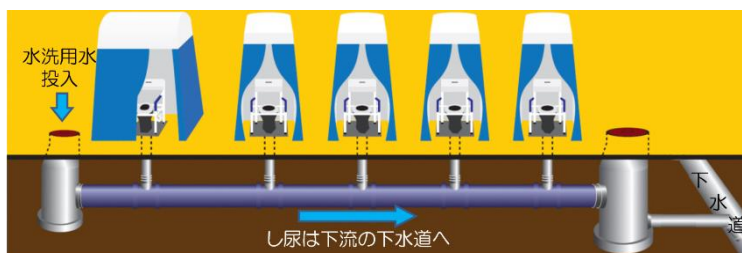
財政健全化の取り組みののち、令和4年4月より「庁舎整備課」を新設し、庁舎建設事業を再開しました。同年6月議会において、町民より新庁舎整備に係る請願書が提出され、議会で採択されました。その後、議会より「会津坂下町役場新庁舎の建設場所について様々な状況を加味し再度協議することを求める意見書」が提出されました。意見書を受け、町が再検討を始め、令和5年2月の議会全員協議会にて新庁舎建設地を「旧坂下厚生総合病院跡地」と表明しました。しかし、同年5月の町民懇談会にて賛否両論様々なご意見をいただいたことから、平成30年3月に建設地が「現庁舎周辺」と議決された時点に立ち返り、より多くの町民の皆様のご意見を伺いながら、検討を進めました。

## 6. 基本性能と導入機能

### 基本方針①：町民の安全を守る防災拠点としての庁舎

#### (1) 防災拠点機能（構造計画含む）

- ①「官庁施設の総合耐震計画基準（国土交通省）」に規定される耐震安全性「Ⅰ類」（建物に作用する地震力を一般的な建物の設計に比べて1.5倍以上）を有する耐震を目標とします。
- ②災害活動や業務継続に必要な重要機能、重要設備・機器などは最大浸水深を想定した非浸水フロアに配置することなどを検討します。
- ③災害対策本部などの災害時に重要な拠点となる部屋は、非浸水フロアに配置し、町長室と近接した位置とします。
- ④ 非常用発電や貯水槽を整備するなど、ライフラインのバックアップ機能を確保します。
- ⑤大規模災害時においても防災拠点として機能を維持できるよう、電気・ガス・上下水道などのライフライン設備や電話・インターネット回線等の通信設備の多重化を検討します。
- ⑥災害時には断水や給排水設備の損傷等によりトイレが使用できなくなる可能性があるため、外部排水経路にマンホールトイレ等の整備を検討します。
- ⑦災害時の備えとして、最低3日間の災害備蓄品を備えられる設備や一時避難所となる設備を検討します。また、災害対応の大型車乗り入れや炊出しスペースとして活用できる除排雪を考慮した平面的な広い敷地の整備を検討します。



マンホールトイレ  
(国土交通省)



車庫兼防災備蓄倉庫  
(山形県川西町役場舎)

#### (2) 駐車場・駐輪場等

- ①新庁舎に必要な来庁者用駐車場、公用車駐車場、職員用駐車場や駐輪場を整備します。ユニバーサルデザインに配慮し、来庁者が安全・安心、かつスムーズに移動できる動線とします。
- ②外構は支援車両の駐車場や支援物資の荷捌きスペースの他、災害発生時を考慮した計画とします。防災拠点として、災害対策活動に必要な防災機材・消防資材、一定程度の物資の備蓄、衣料品などを備蓄するためのスペースを確保します。

## 基本方針②：来庁者に優しい便利でわかりやすい庁舎

### (1) 窓口、住民サービス機能

#### <窓口機能>

- ①住民利用の多い部署は1階にまとめ、ワンフロアで手続きが完了するようにします。また隣り合う部署は関連性の高い部署を配置します。
- ②来庁者用出入口正面の窓口に総合窓口を設置し、案内のほかに住民票や印鑑証明などの戸籍関係証明と税関係の証明書の発行業務を行います。
- ③ペーパーレスを推進し、マイナンバーカードを利用した書かない窓口や行かない窓口の導入を目指します。
- ④ 入口玄関にデジタルサイネージによる庁内案内板を設置します。表示は課・係名のみとします。窓口については、係名とあわせて簡単な業務内容も表示するなど分かりやすい案内表示とします。
- ⑤ 一つ一つの窓口を広くし、間仕切りを設けます。
- ⑥ 待合椅子は窓口と離して配置します。
- ⑦ 待合スペースの通路は1.8m以上とし、待合椅子の配置を工夫することで、誰もが快適なスペースをつくれます。
- ⑧ 子ども連れ来庁者が多い窓口付近に、短編アニメなどの放映（デジタルサイネージなどを活用）や子ども向け絵本の配置をします。
- ⑨ 休日受付（宿直室）は窓口形式として、一部の手続きを24時間受付可能とします。



待合スペース  
(福島県双葉町役場)



デジタルサイネージ  
(福島県須賀川市 tette)



待合スペースに配置された絵本  
(山形県川西町役場)



宿直室  
(福島県会津美里町役場)

#### <相談機能>

- ①相談室は全て個室とし、1課あたり1部屋を目安として整備します。
- ②相談室の場所は1ヵ所にまとめるのではなく、窓口の両サイドに設けます。



執務室からも入室が可能な相談室  
(須賀川市役所)



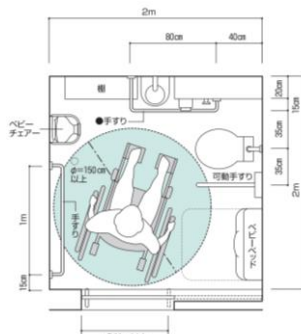
子育て関係の窓口近くに設置された相談室  
(三春町役場)



鍵付きの相談室  
(会津美里町役場)

## <トイレ機能>

- ①待合スペースに隣接した場所に来庁者用トイレを設置します。
- ②休日のイベント等の際に、町民が利用できるトイレを1カ所設置します。
- ③各階に1つは多目的トイレを設置します。来庁者数の多い1階には2カ所に多目的トイレを設置します。
- ④多目的トイレはユニバーサルデザインを採用し、おむつ替え台やオストメイトを設置します。
- ⑤男女共同参画やダイバーシティへの積極的な取り組みとして、男子トイレにもおむつ替え台やベビーチェアも設置します。



人にやさしいまちづくり条例  
(福島県)



多目的トイレ  
(福島県双葉町役場)



男子トイレ内 ベビーチェア・ベビーベッド  
(山形県川西町役場)



## (2) ユニバーサルデザインの採用

### ①バリアフリー化

受付窓口周りには適切なスペースを確保し、来庁者がスムーズに移動しやすい計画とします。通路は敷地及び建物内のいずれも床に段差がなく滑りにくい仕上げとし、車椅子やベビーカーでも移動しやすい計画とします。

### ②わかりやすい庁内の案内表示

案内サインのデザインは、全体的に統一感を持たせ、来庁者が目的の場所にスムーズにアクセスできる計画とします。課名等や業務名に加えて、手続き内容を表示するサイネージなどの視覚的情報や、視覚に障がいのある人に情報を伝えることのできる触知案内板、音声案内等の機能を整備します。



段差のないアクセス  
(山形県川西町役場)



広々とした窓口  
(山形県川西町役場)



階段手すり点字  
(福島県南会津町役場)



### 基本方針③：効率的で利用しやすい行政機能を備える庁舎

#### (1) 防犯・セキュリティ機能

##### ①見通しのよい空間づくり

執務室は見通しのよいオープフロアとし、来庁者に目的の行き先が分かりやすい構成とします。共用部においても、見通しをよくし防犯性を高めます。

##### ②段階的なセキュリティ設定

来庁者が主に利用するゾーン、職員や関係者が主に利用する執務ゾーン、職員のみが利用できる機密ゾーンを段階的に区分し、セキュリティに配慮したゾーニング・動線計画とします。

窓口のカウンターや記載台には、仕切りパネルを設けた配置とします。職員席は、窓口から一定程度離れた配置にするなど業務上の個人情報やプライバシーの保護に配慮した計画とします。



オープフロア  
(山形県高島町役場)



セキュリティ対策  
(山形県川西町役場)



窓口の仕切りパネル  
(福島県双葉町役場)

#### (2) 執務機能および執務環境

- ① 窓口カウンター前には誰でも利用可能な打合せスペースを設けます。
- ② 執務室内の他にバックヤードにも複数打合せスペースを設けます。
- ③ 執務スペースに作業スペースを設けます。
- ④ デスクの配置、構成を均一に設定するユニバーサルレイアウトを採用します。その際、課長席は島型、職員の席は班や係の座席範囲が決まっている「グループアドレス制」かつ班長、係長の座席は課長席側に近づけて配置するなど、固定席寄りの運用とします。
- ⑤ 執務スペース内の壁には極力収納棚を設けるほか、簡易な作業を行う作業台の下は棚にするなど、収納をより多く確保します。
- ⑥ 文書管理は現在の部署管理から、年度管理に切り替え、管理処分の指導を文書管理担当課で徹底します
- ⑦ デスクの間隔は1.8m以上空けることとします。
- ⑧ 庁内は町民向けのWi-Fiを設置し、執務室や会議室は無線LANを採用します。その際、電源のためフロアはOAフロアとし、通路上の配線は極力行わないようにします。

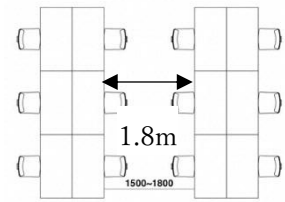




だれでも利用可能な打合せスペース  
(山形県川西町役場)



文書保管庫  
(福島県会津美里町役場)



デスク間隔  
1.8m以上

### (3) 福利厚生

- ①バックヤードの打ち合わせスペースの他に、会議室や多目的に使える空間に職員が昼食を取れる部屋を整備します。座席は机と椅子の組み合わせの他にカウンター席を用意します。
- ②昼食スペースの他、バックヤードにも給湯室を設けます。
- ③男女別に電子錠付きの更衣室を整備します。
- ④更衣室内には洗面台付きのパウダールームを設けます。
- ⑤現在のような正面玄関の風除室ではなく、庁舎の中の余剰スペースに自動販売機コーナーを設置します。



会議室兼職員用昼食スペース  
(須賀川市役所)



給湯スペース  
(山形県川西町役場)



男女別電気錠付更衣室  
(三春町役場)



パウダールーム  
(山形県川西役場)

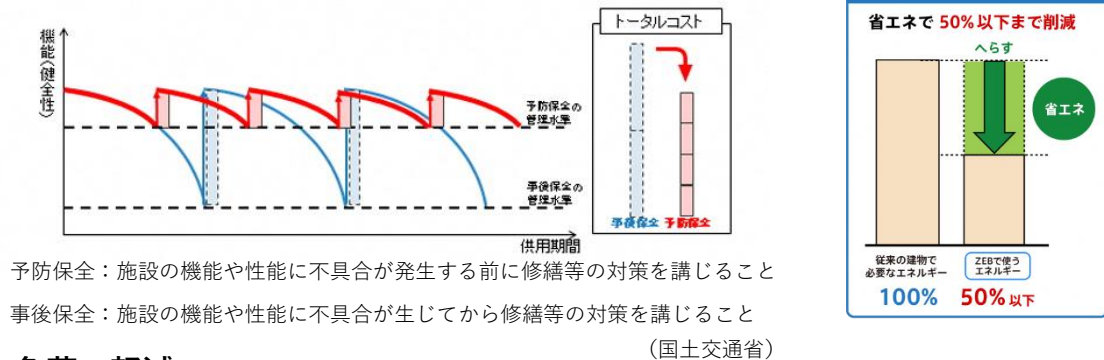
### 基本方針④：経済性に優れた庁舎

#### (1) コストの低減（長寿命化）

- ①窓口機能、執務機能、住民交流スペース、倉庫などの動線を効率化し、共用部の面積を削減し、庁舎の規模を小さく抑えるスリムな施設づくりを目指します。
- ②長寿命の新庁舎とするため、経済的な材料、施設設計や維持管理の選定をし、ライフサイクルコストを抑えます。配線や配管のダクトスペースは、点検や保守などを容易に行えるよう配慮し、汚れにくく掃除のしやすい仕様にすることでメンテナンスや改修が容易になるよう設計します。また、計画的に保全や改修等を行う「予防保全型」の維持管理を推進します。
- ③ZEBを見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物 ZEB Ready などの取り組みを検討します。

- ④空調計画の省エネ対策として、少人数での残業や休日勤務の場合は会議室や打合せスペース等小規模空間で執務を行う空調室の設置を検討します。また、個人が利用するタスク域に特化して快適な温度や湿度を調整するパーソナル空調を検討します。職員の健康保持と執務空間の快適性が向上するだけでなく、不要な部分の冷暖房を減らすことで省エネにもつながります。

【事後保全と予防保全のサイクル(イメージ)】



## (2) 負荷の軽減

- ①断熱・日射遮蔽性に優れた建材や構法、建具、庇等の採用検討により、構造躯体や開口部を通した熱負荷の軽減を図ります。
- ②LED 照明の採用により、照明にかかるエネルギー消費の抑制、空調運転と自然換気をバランスよく制御し、空調にかかるエネルギー消費の抑制に取り組みます。
- ③低炭素のまちづくりを推進し、省エネルギー対策の徹底や省資源に配慮した製品や設備を活用するなど環境負荷を低減した庁舎を目指します。

### 基本方針⑤：町民が集い賑わいが生まれる庁舎

#### (1) コミュニティ施設機能

町民が自由に打合せや待合の時間を過ごすことのできる交流スペース・展示スペースを整備します。災害発生時には自主避難所スペースとして活用できるように可変性を持ち多目的な空間を整備します。来庁者が快適に利用できるよう、色彩や照明の工夫、快適な音環境、均一な温度分布や日射、寒暖への配慮など、快適な空間形成に取り組みます。

#### (2) 議会機能・会議機能

- ① 大会議室は現状の倍ほどの広さとしします。また、会議室をパーティションで仕切ることの中会議室や小会議室としても使用できるものとしします。
- ② 会議室や議場をまとめた会議室棟を検討します。
- ③ 議場の座席などを移動式とし、定例会や臨時会以外の期間は、議会以外の使用目的でも利用できるようにします。



大きさを変えられる会議室  
(須賀川市役所)



可動式議場家具  
(会津美里町)

### (3) 景観・周辺環境への調和

- ① 新庁舎は、町のシンボルである「菊」「桜」「うぐいす」のほか、町の四季折々の景色や遺跡など早くから人々の生活の地となっていた町の歴史と調和したデザインとします。
- ② 周辺の街並みや自然環境との調和、魅力や地域資源をさらに生かすこと等を踏まえたデザインとすることで、町民に親しまれる施設とします。



会津坂下町の花：菊



会津坂下町の木：桜



会津坂下町の鳥：うぐいす

### (4) まちづくり・地域づくり

- ① 協働のまちづくりの拠点として、情報発信・提供機能や町民交流スペースを設け、閉庁後も町民に開放します。
- ② 町政への町民参画がしやすい議会機能を整備し、使いやすい議場やスムーズな議会運営が行えるように動線を考慮した整備とします。



交流スペース  
(会津美里町)



売店  
(会津美里町)



フリースペース  
(会津美里町)

#### **（５）地域産材の活用**

地域産材を活用し、町民が親しみやすい庁舎とします。また、地域産材の活用により、間接的に地域経済の活性化を図り、町に賑わいを創出します。



## 7. 新庁舎の建築計画

### (1) 敷地条件

所 在 地	福島県河沼郡会津坂下町字逆水 50 番地 1	
用 途 地 域	第一種住居地域 ※第二種住居地域に変更予定	
建 ぺ い 率	60%	
容 積 率	200%	
前 面 道 路	南側：町道坂下南幹線 幅員 19.0m 東側：町道勝大線 幅員 8.5m～15.0m 北側：町道中岩田2号線 幅員 9.0m 町道惣六線 幅員 12.0m 西側：町道逆水線 幅員 6.0m 町道逆水南線 幅員 6.0m	
防 火 指 定	指定なし（22条区域）	

### (2) 配置計画

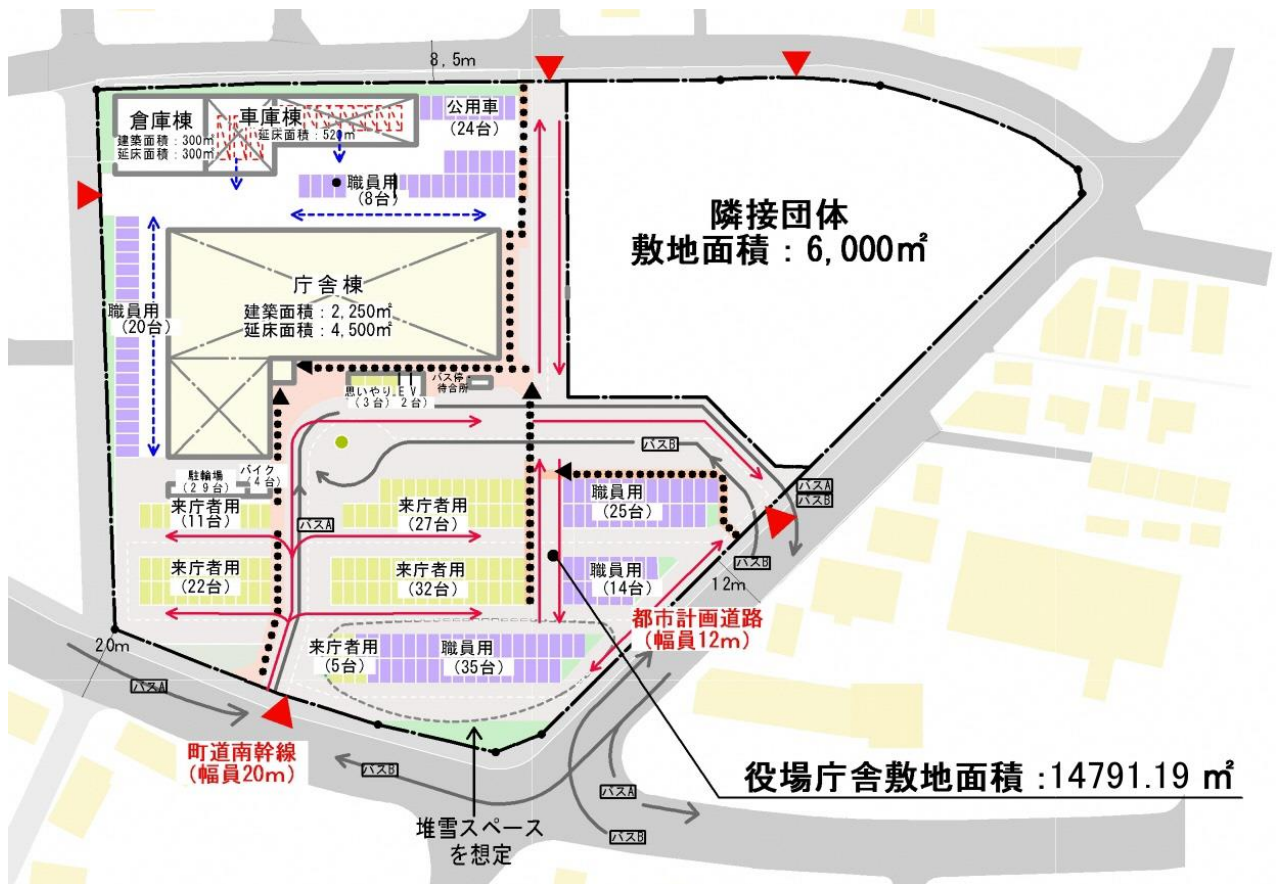
新庁舎の基本的な考え方や町民の方々のご意見を整理し、町民や職員の利便性、新庁舎と周辺の公共施設との機能的な連続性、周辺環境との景観形成などに配慮した建物配置の検討を行います。

#### ①配置計画の比較

	庁舎西側配置案	庁舎東側配置案
配置イメージ		

		庁舎西側配置案	庁舎東側配置案
執務 環境	採光	庁舎自体は南側及び東側に開かれており、良好な採光を得られる。	庁舎自体は南側に開かれており、良好な採光を得られる。
	静寂性	南側交差点に近接しており、若干の影響は懸念される。	南側交差点からは比較的距離があり、静寂性において有利である。
来庁者 利便性	駐車場から 庁舎までの 距離	駐車場を南側にまとめる配置が可能であり、庁舎との距離は近い。	敷地形状は南北に長く、最も南側からは距離が遠くなる。
	アプローチ	南側交差点に接近しており、良好。南側、東側双方からのアプローチが可能である。	南側交差点からのアプローチが不可。来庁者アプローチは、東側のみ。
維持 管理	駐車場の積 雪	駐車場は南側にあり、融雪に対しては有利である。南側に堆雪場も確保可能。	駐車場は南側にあり、融雪に対しては有利である。南側に堆雪場も確保可能。
周辺へ の影響	日影	西側住宅地に近接しており、日影の影響が懸念される。北側への影響は少ない。	北側住宅地に近接しており、日影の影響が懸念される。西側への影響は少ない。
環境 負荷	通風	L型形状の庁舎のため、西方の季節風の遮断が可能。また、倉庫等での差断も可能。	L型形状の庁舎のため、西方の季節風の遮断が可能。また、倉庫等での差断も可能。
	採光	執務室は南からの採光を得やすく照明負荷の低減が可能。	執務室は南からの採光を得やすく照明負荷の低減が可能。
備考		駐車場を南側にまとめて確保することが可能だが、西側に近接することによる日影等の影響が懸念される。南側交差点に近いこと視認性が高くアプローチも良い。	南北に長い敷地形状による動線の長さが懸念される。南側交差点からの距離があり、執務環境は良いがアプローチが東側に限定され、利便性で懸念が残る。

## ②配置計画検討



配置計画のイメージ

- ・敷地西側を役場庁舎建設地、東側を隣接団体事務所棟建設地として各施設を配置し、敷地内へは南側・東側・北側の三方からのアプローチが可能です。（西側は主に管理用進入口として利用します。）
- ・また庁舎と隣接団体敷地の相互往来も可能です。
- ・敷地外からの排雪を考慮し、敷地中央に通路を配置、駐車場の南端に堆雪することを想定しています。
- ・役場の駐車場を活用すると、南側に広いスペースを確保することが可能であり、災害対応スペースやイベントスペースとして利用できます。

## (3) 構造計画

### ① 構造種別

鉄筋コンクリート造・鉄骨造・木造もしくは各混構造などが想定されますが、町民の安全安心を確保する防災拠点として建物自体に十分な耐震性能を備えた構造とし、災害時には対策本部としての指揮命令が十分機能できる施設とします。またコスト面や環境面など総合的に検討し決定します。



庁舎整備班



令和7年11月吉日

会津坂下町長 古川 庄平 殿

会津坂下町自立支援協議会 就労・地域生活支援部会  
 部会長 目黒 宏志



## 新庁舎建設に関する要望書について

会津坂下町自立支援協議会就労・地域生活支援部会は、14名の部会員で障がいがある方の就労及び地域生活支援について議論し、就労機会の確保や理解促進などについて、長年にわたり活動を続けて参りました。

本町の令和6年度障がい福祉計画のアンケート調査では、「会津坂下町で障がいがある方が働ける場が足りなすぎるので作ってほしい」との声があり、78名の方から「障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがある」との回答がありました。

こうした町民の声や課題解決のために、当部会としては、障がいがある方の働く・社会参加の機会確保として新庁舎内で障がいがある方のカフェ事業を実施したいと考えております。また、バス待ちの高齢者や放課後の児童などが分け隔てなく憩うフリースペースを併設し、障がい理解の促進も図りたいと考えております。

設置箇所としては、庁舎の入り口に近い明るく目に留まりやすい場所で30～40人規模を想定しております。設備としては、厨房設備、軽食できるカウンターと展示コーナーがあり、町内の障がい福祉サービス事業所が共同で利用したいと考えております。

何卒、新庁舎建設検討委員会などで要望書の趣旨を尊重し、協議していただきたいと思っております。

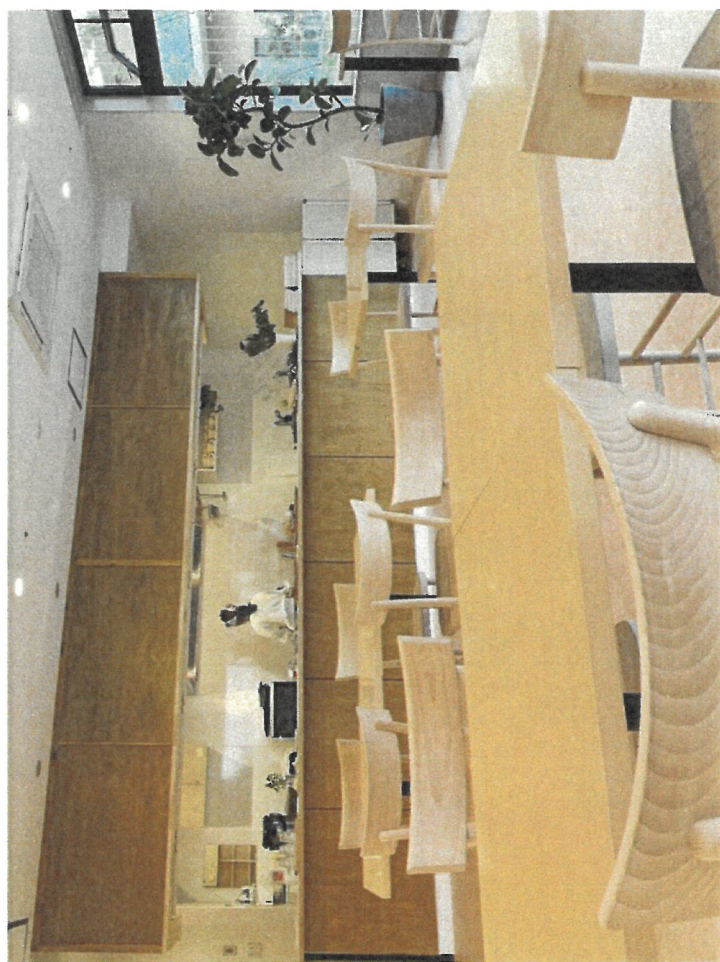


# 役場新庁舎内 カフェスペース (構想)

・世代問わず入りやすく、木のぬくもりを感じて  
落ち着ける場所を・・・

・飲食だけではなく、バス待機や高齢者の方たちの休憩スペース  
来庁者の方たちのほっと一息する場所の提供。  
・小さいお子さんも落ち着いて過ごせるカフェスペースを・・・

イメーシ ☒



## 棚・ディスプレイ関係





椅子・テーブル・キッズスペース



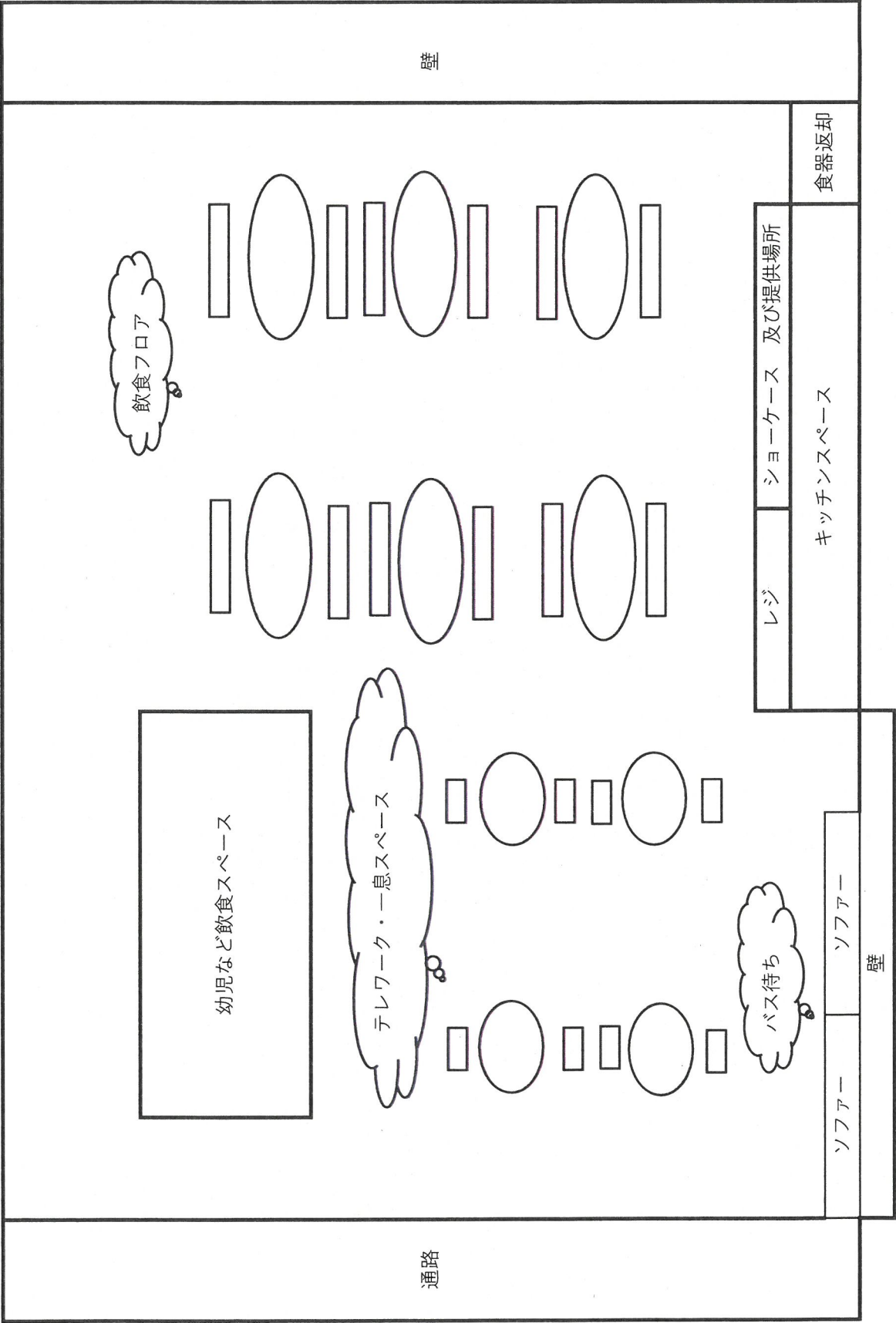
どのようなカフェスタイルにするか・・・

・軽食（サンドイッチとコーヒー、おにぎり、日替わりスープ）  
お昼時間はランチメニュー（メニューはある程度限定したほうが良いの  
か）

営業開始時間など・・・

役場 町内カフェスペース 構想案

通路



町長	副町長	課長	係長	係員	係員	係員	係員	係員	係員
田中	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内
山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内
山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内	山内

行政管理課  
総務人事  
情報統計  
秘書広報  
DX推進

資料4-2



会津坂下町長 古川庄平様

令和7年12月8日

庁舎整備課

会津若松市日吉町1番4号  
福島県建築士会会津支部坂下分会  
部会長 大竹勝芳  
TEL 0242-28-0713



## 町新庁舎配置計画について、広く町民の意見を聴取し反映させるよう求める陳情書

会津坂下町新庁舎計画が進行しています。新庁舎配置計画案について当部会の建築士会会員が意見交換をしました。町の配置計画案について検討し当部会の試案を作成しました。町の庁舎位置については災害に重きを置いて決定された経過があり、災害対応にも重点的に検討をしました。

その結果、別紙の配置計画試案を作成しましたので、提案いたします。提案の主な内容について述べます。

南幹線の信号機付の交差点から南北に道路計画する。  
この中間点にある新庁舎入口から東方向に道路計画する。  
交差点は4差路とする。

### 大きな特色

1. 災害対応を考慮した場合に南幹線より、一直線で庁舎入口に到達し、進入できる。交差点通過を一つ減少できます。
2. 東側の都市計画道を通行しての、若松方面からの交差点での右折大型車は強い鋭角であり、大きな道路の交差基準からは好ましくないことを解消できます。
3. 同様災害時にはトレーラーの進入も当然ありますので、スムーズな進入が難しいのではないのでしょうか。
4. 新庁舎への乗合バスの走行距離を短縮できることと、交差点の一つ減少は安全対策にもなります。
5. 南北の通りを都市計画道路(2, 2, 2)と一直線で接続することにより、この通りを「仮称町役場通り」とする街路計画ができ、事業所・商業施設に進出の効果が期待できます。
6. 諏訪公園は一時避難場所にも指定されており、災害時には南幹線からの素早い対応ができます。
7. 「仮称町役場通り」と交差する杉街道沿い付近の地区が南幹線と一直線で通行でき、若松方面、会津中心部へのアクセスが向上します。

町計画案と比較検討していただき、より良い配置計画が作成されることを望みます。

私共のほかにも、町民から広く意見を聞くなりして、町民参加の新庁舎になりますよう切望するものです。つきましては配置計画案について、町の配置計画案、建築士会の配置計画試案、町民からの提案等、広く町民の意見を聞き反映させるためにも説



都市計画道路

役場庁舎敷地面積：14,790.8㎡

南北に連なる一直線の道路

隣接団体  
敷地面積：6,000㎡

鉄砲町内への道路

既存道路は南幹線への接続を廃止する

南幹線より単純一直線で新庁舎入口に到達できる

堆雪スペース  
を想定

配置計画図 1：900

■配置計画について

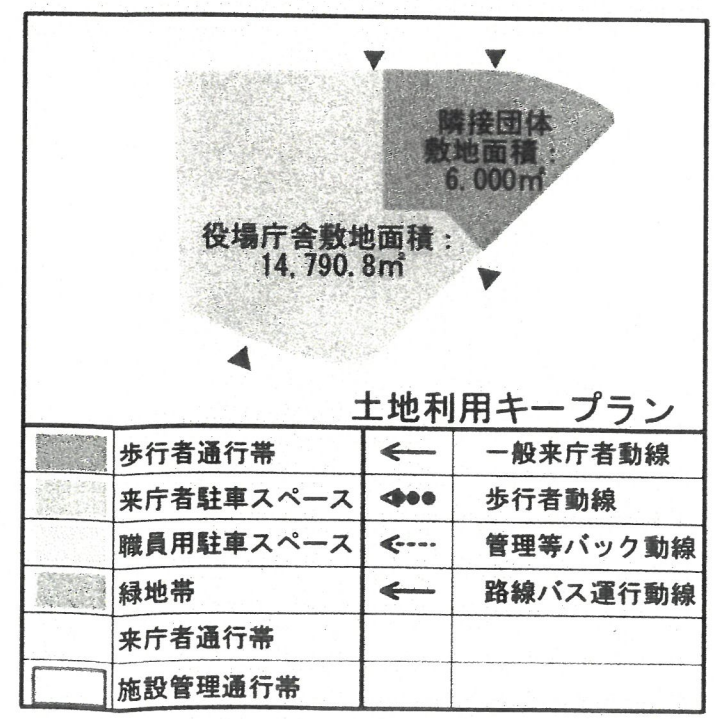
- ・敷地西側を役場庁舎建設地、東側を隣接団体事務所棟建設地として各施設を配置している。
- ・敷地内へは南側・東側・北側の三方からのアプローチが可能（西側は管理用進入口）
- ・敷地外からの排雪を考慮し、敷地中央に通路を配置し、駐車場の南端に堆雪することを想定している。
- ・役場の駐車場を活用すると南側に広いスペースを確保する事が可能。（災害対応スペース・イベントスペース）
- ・両敷地の相互行き来は可能である。

■役場庁舎側について

- ・役場庁舎前にロータリーが設置可能。バス停を1箇所設置。分かり易い路線バスのルート形成が可能。
- ・メインアプローチが町道南幹線（幅員20m）に面しているため敷地内への進入は容易である。また庁舎としての象徴性もある。
- ・建設地は南幹線に面しているため、庁舎の認知性は高い。
- ・南側駐車場に広いスペースが確保でき、また庁舎との連携がとりやすく、防災拠点としての機能が図りやすい。
- ・主要な敷地内道路全て役場敷地となるため道路の維持管理、除雪がしやすい。
- ・南側の広いスペースが全て役場敷地内となるため町のイベントをしやすい。

■配置計画の課題について

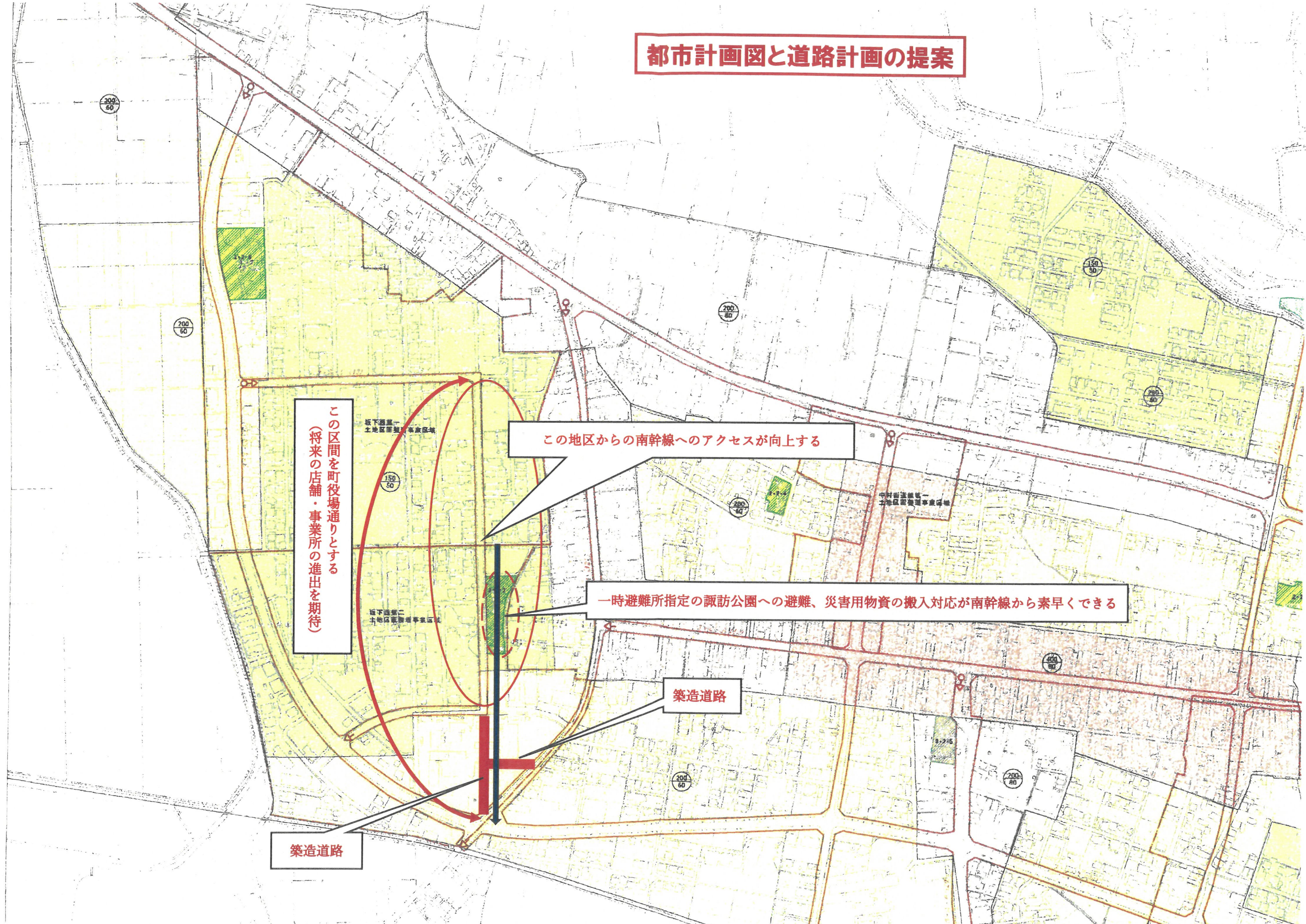
- ・最も利用者の出入りが多い役場庁舎のメインアプローチが町道南幹線（幅員20m）のため交差点での渋滞や敷地出入の混雑が懸念される。



役場庁舎側駐車場		用途	配置台数	必要台数
来庁 思い 輪	来庁	南幹線に交差する道路が約45度の鋭角であり望ましくない交差点の解消（通常鋭角度は75度以上が望ましい） 今やらないと未来永劫できない		台
	思い			台
	輪			台
他	自転車			台
	公用車	公用車用駐車スペース	24台	24台
	職員用	職員用駐車スペース	102台	102台
	合計		241台	208台
他	自転車	自転車用駐車スペース	29台	29台
	バイク	バイク用駐車スペース	4台	4台
	合計		33台	33台



# 都市計画図と道路計画の提案



この区間を町役場通りとする  
(将来の店舗・事業所の進出を期待)

この地区からの南幹線へのアクセスが向上する

一時避難所指定の諏訪公園への避難、災害用物資の搬入対応が南幹線から素早くできる

築造道路

築造道路



# 団体からの要望書の検討

資料4-3

	団体等	要 望 内 容	検 討
1	会津坂下町 自立支援協 議会 就 労・地域支 援部会	町内の障がい福祉サービス事業所が協同して、新庁舎内でのカフェ事業を実施し、障がい理解の促進を図りたい。（厨房・カフェスペース・展示スペース）	
2	福島県建築士会 会津支部坂下部会	敷地内道路計画と敷地使用範囲の変更 ①惣六線を南に延長し南幹線交差点に接続する。（新たな四差路） ②勝大線の南幹線接続を廃止し、西側に曲げて惣六線に接続する。 ③上記に伴う敷地使用範囲の変更	